

令和7年度 米子市文化ホール事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 施設管理の充実

- (1) メインホールの誘導灯を旧式の仕様のものから順次LED型誘導灯に更新して、利用者が安心・安全に利用できるよう整備を進めた。
- (2) 管理棟屋上室外機置場や自家発電機置場の劣化した防水テープの貼り直し、機器専用の新しい排水口の増設により、雨水の侵入防止と水溜まりの防止対策を行った。
- (3) 隣接する米子コンベンションセンターとの連携により、積雪時に除雪車と除雪機の手配をスムーズに行い、駐車場や歩行者用通路の確保を適時に行うことができた。
- (4) 開館から34年が経過し、建物や設備品が経年劣化しているため、不具合が生じないよう館内外の巡回などを適切に行い、予防対策に努めるとともに、可能なものは職員で修繕、施設の美観向上などを行った。

2 利用者サービスの向上

- (1) 施設利用者が講座等のイベントで利用できるようWi-Fi機器の無料貸出提供を開始した。一定のセキュリティを確保した上でインターネット環境を整備したことで、利便性向上を図った。
- (2) 施設の利用促進や主催事業の広報についてホームページやソーシャルメディアなどの更新頻度を上げたことにより、最新情報を適時適切に提供し、情報発信のさらなる強化を図った。
- (3) 米子コンベンションセンターなど近隣施設や各種団体等との連携を強化したことにより、より幅広く柔軟にイベントを展開することができるようになり、参加者や来場者のニーズに対応することができた。
- (4) 米子駅最寄りの文化施設として、市外からの来場者に対し観光マップやランチマップ等で簡単なインフォメーションを行うなど、イベント情報だけでなく「まち情報」の発信に努めた。

2 事業の実施状況

事業名	開催日/ 実施期間	参加者数 (人)	内 容
鑑賞事業			
【新規】 大萩康司×朴葵姫 ギターデュオ・リサイタル 共催：日本コロムビア	4月27日(日)	233	クラシックギター界の現世代トップランナー2人による、クラシックギターの定番曲や日本の伝統的な旋律をモチーフにした楽曲など多彩なプログラムでのスペシャルデュオコンサートを開催した。 入場料：4,000円 会場：メインホール
MALTAフェスタ2025 共催：マルタジャパン、MUSIC&FOOD	9月20日(土)	196	米子市在住のジャズ界の重鎮、サックス奏者MALTAと日本古来の楽器によるユニット「TRYPIN」、鳥取県内を中心に活動する和太鼓LEGEN童との協演によるコンサートを開催した。 入場料：3,000円 会場：メインホール
【新規】 B→C関連企画 山本耕平とひも解くB→C (バッハからコンテンポラリーへ)の魅力 共催：東京オペラシティ文化財団、鳥取県文化振興財団	8月24日(日)	107	9月27日開催の「B→C 山本耕平テノールリサイタル」を100倍楽しむためのイベントという位置付で、楽曲への理解を深めるための事前のレクチャーコンサートを開催した。 入場無料 会場：イベントホール
【新規】 B→C(バッハからコンテンポラリーへ) 山本耕平テノールリサイタル 共催：東京オペラシティ文化財団、鳥取県文化振興財団	9月27日(土)	509	歴史ある東京オペラシティ リサイタルシリーズの一環として、米子市出身で日本を代表する若手オペラ歌手・山本耕平によるリサイタルを、高橋維(ソプラノ)、立神粧子(ピアノ)との協演により開催した。 入場料：3,000円 会場：メインホール
こころの劇場 劇団四季ミュージカル 共催：米子市教育委員会	10月14日(火)	1,100	舞台芸術センターが“こころの劇場”として全国巡回する劇団四季ミュージカルを市内小学校6年生に鑑賞できる機会を提供した。 入場無料 会場：米子市公会堂大ホール
上妻宏光「生一丁！」 Tour2025-2026 共催：日本コロムビア、コンサート米子	1月18日(日)	331	津軽三味線の伝統と革新を追求し、ジャンルを超え世界を舞台に多彩な活動を繰り広げる三味線奏者上妻宏光による生音だけの全国ツアーを開催。若手の俊英・浅野祥をゲストに迎え、相撲甚句、アドリブ合戦なども織り交ぜ観客を魅了した。 入場料：4,500円 会場：メインホール
参加型事業			
第67回米子市音楽祭 共催：米子市音楽祭実行委員会、とっとりコンベンションビューロー 連携：米子市美術館	6月14日(土) フリージャンル	498	米子市及び近郊で活動する音楽愛好者の発表の場、地域の音楽ファンの鑑賞の機会を提供し、音楽を通じて地域文化の活性化を図ることを目的に、5つのジャンルのコンサートを開催した。また、市音×市展(米子市美術展覧会)の連携として、出演団体「よなごまちジャズバンド」が第64回米子市展開会式に演奏出演した。
	6月15日(日) 合唱	898	
	6月21日(土) JAZZ	646	
	6月22日(日) アコースティック	712	
	6月29日(日) GAINA JAM	1,211	入場料：5日間共通券500円、高校生以下無料 会場：米子市文化ホールメインホール、米子市公会堂大ホール、米子コンベンションセンター多目的ホール
	計	3,965	

事 業 名	開催日/ 実施期間	参加者数 (人)	内 容
文化ホールでうたおう	世代を越えて「うた」や「音楽」に親しめるよう、定例の3つのコースと特別コースによるうたう会を開催した。		
	毎月主に 第2月曜日 (75分間)	1,658	「懐かしのメロディーをうたう会」(月曜コース) 童謡、叙情歌から世界の歌、歌謡曲まで、懐かしい曲をピアノ伴奏により参加者に楽しく歌ってもらった。 会員数：160人 会場：メインホール 参加費：1,000円(年間)
	8月4日(月)	(146)	「わらべ館コンサート」 月曜コースの一環としてわらべ館から派遣された特別講師によるコンサートを開催した。
	毎月主に 第4木曜日 (60分間)	835	「童謡をみんなでうたう会」(木曜コース) 懐かしい唱歌、童謡から、新しい子どもの歌などを歌唱指導も交えながら、ピアノ伴奏により参加者に歌ってもらった。 会員数：78人 会場：イベントホール 参加費：1,000円(年間)
	毎月主に 第4木曜日 (30分間)	140	「どうようのおへや」(チャイルドコース) 主に幼稚園・保育園通園前の幼児と保護者を対象とし、体を動かしながら音楽に親しみ、楽しく歌ってもらった。 会員数：14人 会場：イベントホール 参加無料
	3月1日(日)	264	特別講座「懐かしのメロディーをうたうコンサート」 会員以外も一緒に参加できる演奏会形式の特別コンサートを開催した。 入場無料 会場：メインホール
	計	2,897	
ダンス・フェス1 ver.17	2月14日(土)	1,074	ダンスの発表の場を提供するとともに団体間の相互交流を図ることにより、ダンスへの理解と技術の向上を図った。 入場料：各日1,000円、高校生以下無料 会場：米子市公会堂
	2月15日(日)	1,092	
	計	2,166	
市民交流事業	文化ホールの活用促進・にぎわい創出を図るため、各種事業を開催した。		
	8月7日(木)	60	「米子市文化ホールのぶたいうらをのぞいてみよう！」 小学生を対象に舞台設営、照明、音響の舞台技術の3つの分野を体験学習するとともに、ステージと観客という立場も体験し、舞台技術を構成する要素に触れ、理解を深めた。
	6月2日(月)	16	「多目的広場植栽活動」 春と秋の年2回、米子高校草花コース2年生が栽培した花苗を、生徒自身のデザインで花壇、プランターに植栽した。
	10月27日(月)	17	
	10月18日(土)	7,000	J A鳥取西部や鳥取県などが共催する「農と食のフェスタinせいぶ」の一環として開催される「ネギ来まつり」において、多目的広場でのダンスイベント、屋台村・スイーツ通りなどを実施した。
	10月19日(日)	9,000	
	11月28日(金)	100	YONAGOファンタジア点灯式 「バブルパフォーマンスショー」 会場：多目的広場 共催：鳥取県電業協会西部支部 ※イルミネーション点灯期間11月28日～1月31日

事業名	開催日/ 実施期間	参加者数 (人)	内 容
SUN-INハンドメイドフェスタ 共催：ビックシップ航海デー実行委員会	11月30日(日)	フェスタ全体 (6,000) 240	山陰地方で活動する作家によるハンドメイド雑貨等の販売やリラクゼーションブース及びフードブースの出展にあわせて、小ホールでのダンスイベント（ダンス・フェス1 オープニングダンス公開オーディション）を企画実施した。 会場：米子コンベンションセンター
教育普及事業			
鷺見三郎顕彰事業 第33回 米子ユースオーケストラ演奏会 共催：鷺見三郎顕彰事業実行委員会	3月22日(日)	418	米子市出身の世界的なヴァイオリン教育者・鷺見三郎の顕彰事業として、学校や音楽教室の枠を越えた青少年管弦楽演奏者を育成し、地域の音楽文化の振興に資することを目的に、年間を通じた練習活動及び演奏会を開催した。 会場：メインホール 入場無料（整理券発行）
Feelおでかけ事業	12月15日(月)	35	ホールに出かける機会の少ない方を対象にしたアウトリーチ事業として、米子北高の生徒等を対象に、演劇Project Beeによる「銀河鉄道の夜」ドラマリーディング公演を行った。 入場無料 会場：米子北高図書館BAUM
情報提供事業	通年	-	文化ホール・公会堂・淀江文化センターの利用促進や事業PRのため、ホームページやSNSを随時更新し、毎月発行する3館の施設イベント案内情報紙Feelやイベントフライヤーを友の会会員等に配布するなど積極的にインフォメーションを行った。
新米子市発足20周年記念 財団施設連携事業 米子市文化財団フェスティバル2025 よなぶん万博inよどえ 「もっと知りたい！米子城」	10月11日(土)	フェス全体 (944) (110)	当財団が管理・受託している各施設が集まり、特色を活かしたワークショップ等を実施した。文化ホールは「もっと知りたい！米子城」としてVRゴーグルやスマートフォンを使った米子城VR体験や米子城関連の写真展を開催した。 会場：米子市淀江文化センター
連携事業			
ぶらっと下町日和 連携：NPO法人夢蔵プロジェクト、 日の出湯元気ふるじェクト、 よなごまちジャズプロジェクト、 米子観光まちづくり公社	4月20日(日)～ 5月6日(火)	(200)	歴史ある下町エリアの価値を再認識し、新たな文化的魅力の創出につなげ、地域の文化振興及び活性化を図るため、「YORAIYA角盤」や昔ながらの銭湯、古民家などを会場に各種のイベントを開催した。 会場：YORAIYA角盤、日ノ出湯、古民家等
そこにある絶景 米子城フォトギャラリーⅢ 連携：鳥取大学医学部附属病院、 米子市立山陰歴史館	4月22日(火)～ 5月29日(木)	(1,900)	米子城のおひざ元である鳥取大学医学部附属病院において、入通院のため病院を利用される方や様々な用務で病院に立ち寄られる方などが米子城の魅力に触れていただけるよう継続的に開催しているもので、四季折々の絶景写真やPRのためのパンフレットやチラシ等による米子城の魅力発信を行った。 会場：鳥取大学医学部附属病院

事業名	開催日/ 実施期間	参加者数 (人)	内 容
絶景の城 米子城フォト展Ⅲ 連携：米子市立図書館、 米子市立山陰歴史館	9月4日(木)～ 27日(土)	(1,050)	「米子城 みごろ・みどころ絶景図鑑」として、四季折々の絶景の見ごろや見どころのポイントを写真や解説パネルなどで紹介するとともに「米子城風景いまむかし」として、天守からの古いパノラマ写真など貴重な資料により、米子城や市街地の風景の移り変わりを紹介した。 会場：米子市立図書館
絶景！米子城 秋冬コレクション 連携：米子市淀江文化センター	10月12日(日)～ 14日(火)	(415)	「絶景・最強の城」と謳われる米子城の秋～冬の見頃や見どころを米子城写真人が捉えた写真とキャプションで紹介した。 会場：米子市淀江文化センター
「米子城の奇跡」パネル展 連携：米子城鯛石普及協会	1月23日(金)～ 3月31日(火)	(750)	米子城は海城・山城・平城の要素を併せ持つ希少な構造であること、「鯛石」などの奇石が存在することなど、その魅力を「奇跡」という切り口で紹介し、現地体験につなぐきっかけを提供した。 会場：米子コンベンションセンター
受託事業			
米子城跡三の丸番所展示業務 連携：米子市立山陰歴史館	通年展示 展示替5回	-	米子城跡三の丸番所施設において、米子城跡に関する写真や資料の制作、展示業務を行った。
主催事業参加者数合計（人）		28,390	（ ）の人数は除く

3 施設の利用状況

開館日数 310日

室名	利用日数 (日)	利用件数 (件)	利用者数 (人)	利 用 料 (円)	備 考
メインホール	212	226	43,633	11,947,072	
大楽屋	0	0	0	0	単独利用のみ
イベントホール	267	386	19,571	3,727,390	
展示室	203	239	7,770	1,750,310	
和 室	173	324	2,689	742,390	
研修室	298	814	9,161	1,848,180	
練習室	291	657	3,416	924,050	
オープンスペース	35	35	14,451	13,470	
多目的広場	45	48	16,016	6,260	
合 計	-	2,729	116,707	20,959,122	